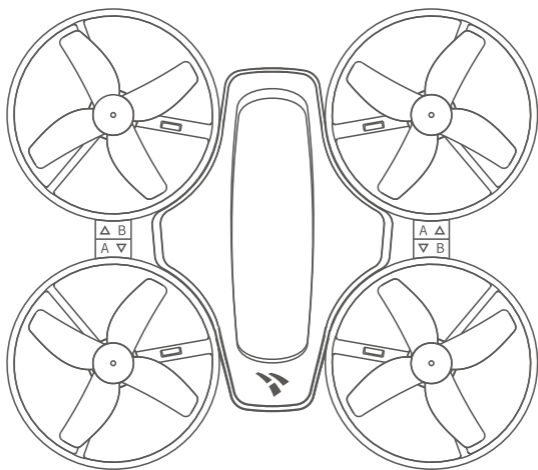


SNAPTAIN 

14⁺
FOR AGES



Mini Drone SP350

取扱説明書

》 声明と安全上のご注意

1. ドローンのインジケータを直視しないでください。



2. 本品を処分する場合、一般ゴミとして出さないで下さい。



3. 障害物、高圧線、木、水面、人が集まるもしくはその近くの場所で飛ばさないでください。



4. 天候の悪い日に、例えば大風、雨天、雪、霧、雹、雷電、竜巻、台風の日などに飛ばさないでください。



5. 回転プロペラやモータと離れて小さいもの(例えば髪)が入ることを防止するように。



6. 本品はGPSを装着せず、制御距離以外に飛ばさないでください。



7. 当地の関連法律・法定に則り、そしてすべてのフライト規定を遵守してください。

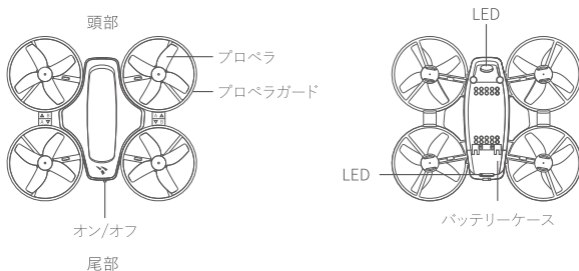


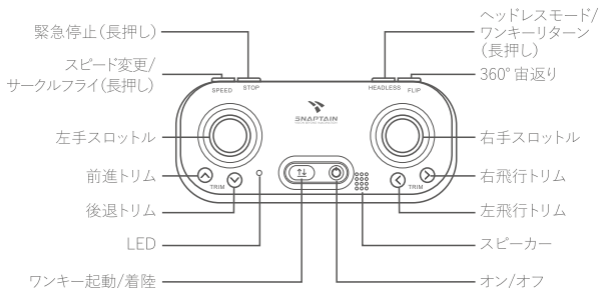
SNAPTAINは本製品の使用によって直接的又は間接的に発生した損害、けが、又は法的責任について一切の責任を負いません。ユーザーは、これらの安全ガイドラインに記載されているものを含むがこれらに限定されない安全で合法的な慣例を遵守するものとします。SNAPTAINはこのユーザーマニュアルを更新する権利を留保します。

》 定期点検とお手入れ

1. ドローンがぶつかったり衝撃を受けたりする時、まず丁寧に検査を行ってから飛ばせません。
2. 本品を使用した後、バッテリーがまだ発熱している時、充電しないでください。
3. 長時間に本品をご使用にならない場合、機体と送信機の中のバッテリーを取り出してください。
4. バッテリーを過充電しないでください。フル充電した後、直ちに充電器を抜き出してください。
5. 本品は涼しく乾燥した場所に保管してください。直射日光に当たらないでください。
6. 可燃物(カーペット、木の床など)や導電性の物体の近くで充電しないでください。充電する時、バッテリーは目の届く範囲に置いてください。
7. バッテリーは弊社が用意しているオリジナルのものをご使用ください。間違ったタイプのバッテリーを使用すると、火災の危険性があります。
8. 爆発の原因となりますので、電池を火やストーブの中に放り込んだり、切断したり、機械で圧迫したりしないでください。
9. 爆発を起こしたり、可燃性の液体やガスが漏れたりする恐れがありますので、バッテリーを高温にさらさないでください。
10. 爆発の原因となったり、可燃性の液体やガスが漏れることがありますので、バッテリーを極端に低い空気圧にさらさないでください。

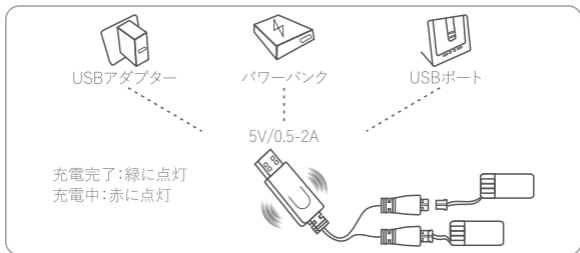
》 商品の紹介



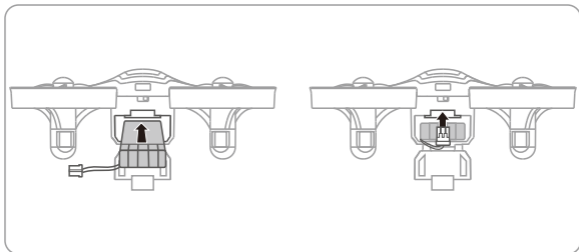


▶▶ 飛行前の準備

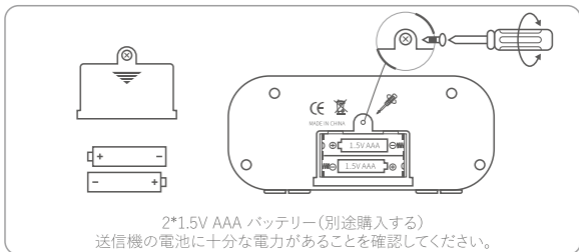
1. ドローンのバッテリーを充電します。



2. フル充電した後、ドローンに取り付けます。



3. 送信機のバッテリーの取付。



⚠️ ご注意:

- ① ご安全を守るために、メーカーに提供されたオリジナル充電器とバッテリーを使用してください。
- ② 寒い時間で飛行すると、バッテリー飛行時間は減らされる可能性があります。
- ③ バッテリーの寿命を延ばすために、長期間使用しない場合は少なくとも3か月ごとに1回充電してください。

➤ 飛行ガイド

ⓘ ご注意:

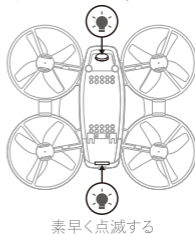
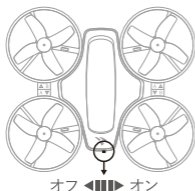
- *まずドローンの電源を入れてから、送信機の電源を入れてください。
- *毎回ドローン若しくは送信機の電源を入れるたびに、ドローンと送信機のペアリングを行ってください。
- *ドローンの制御ために、絶対に校正を行ってください。
- *如何なる飛行機能とモードの場合、ユーザをドローンの尾部に向いてください。

Mode 2の場合

1. ペアリング

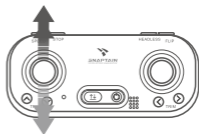
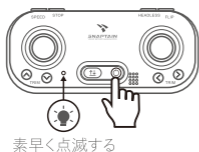
ステップ 1:

機体の電源を入れ、LED が点滅していて、水平な場所においてください。



ステップ 2:

送信機の電源を入れると送信機のLEDが点滅します。「左手スロットル」を上押し、続けて下押しするとLEDの点滅が点灯に変わり、ペアリングが成功になります。

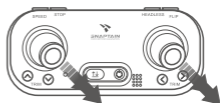


2. 飛行校正

ペアリングに成功した後、同時に左右スロットを左下角 45° 若しくは右下角 45° へ2-3秒押し、校正を行ってください。校正している時、機体のインジケータが素早く点滅します。インジケータが長く点灯すると校正が成功しています。



または



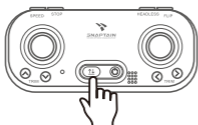
*ドローンが落下しかつドローンのLEDがすばやく点滅する場合は、ドローンを再度調整してください。

3. 飛行指導

起動

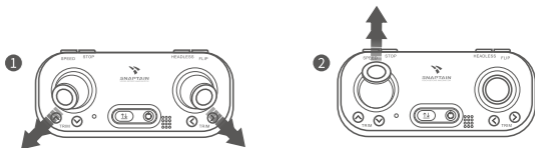
オプション1:

「**↑↓**」ボタンを軽く押してテークオフできます。



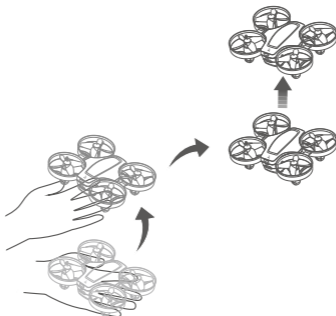
オプション2:

プロペラがすべて回転するまで、「左手スロットル」を左下角45°へ、同時に「右手スロットル」を右下角45°へ押してください。次に「左手スロットル」を上へ軽く押して離陸になります。



オプション3:

ドローンを手のひらに置いて機首を正面にし、それからゆっくりと空中に投げます。



- * ドローンを投げ上げるには十分なスペースがあることを確認してください。この動作は基本操作に熟練している場合にのみお勧めします。
- * LEDが素早く点滅している時、ドローンを投げないでください。ドローンとリモコンを再起動し、ペアリングと較正の手順を行ってから再び投げてください。

着陸

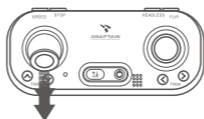
オプション1:

フライト中、「**↑↓**」ボタンを軽く押して着陸できます。



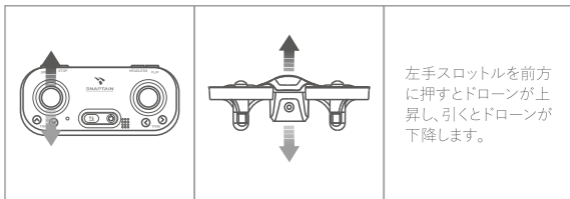
オプション2:

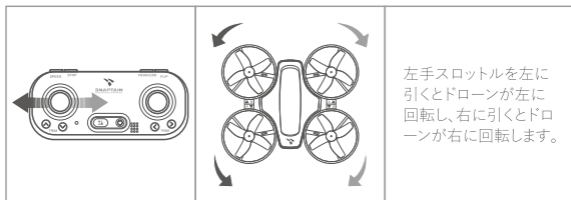
プロペラの回転が停止まで「左手スロットル」を下へ3秒まで長押しして、着陸になります。



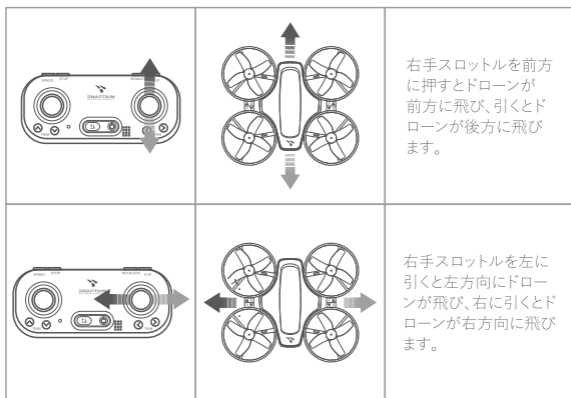
飛行ガイド

左手スロットル





右手スロットル



高度保持


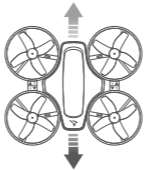

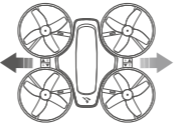
ドローンの高度保持機能が初期に始動します。ドローンがある高度に上昇若しくは降下すると、「左手スロットル」を放して、ドローンがその高度を保持します。安定のフライトを行うため、相応なトリムボタンを軽く押して調整します。

i ご注意:

市場におけるGPS付きなしのドローンの高度維持機能は定点じゃなくである水平面を維持できる機能です。ホバリング時、ドローンが左右に流される可能性があります。流されたら、トリムボタンを使ってください。詳細操作は「トリム調整」にご参照ください。

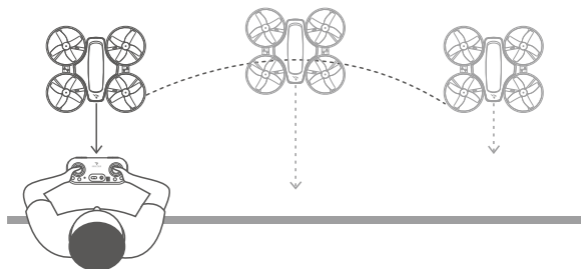
トリム調整

安定のフライトを行うため、相応なトリムボタンを軽く押して調整します。

		<p>ドローンが飛行状態になる時、前方若しくは後方に傾いた場合、「後退/前進トリム」ボタンを軽く押して後退/前進に調整する。</p>
		<p>ドローンが飛行状態になる時、左若しくは右に傾いた場合、「右飛行/左飛行トリム」ボタンを軽く押して右方向/左方向に調整する。</p>

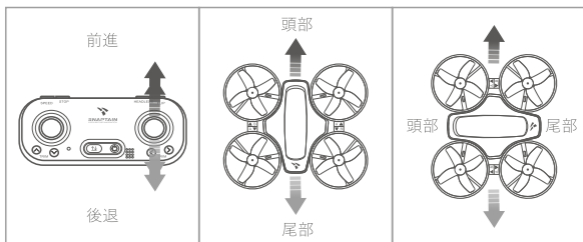
ワンキーリターン

「」ボタンを長押しして元の離陸経路を折り返します。もう一度このボタンを長押しすると帰航モードはキャンセルされます。



ヘッドレスモード

「**+**」**(H)** ボタンを軽く押すと、ドローンのLEDインジケータがゆっくりと点滅します。ドローンのLEDが点滅すると、リモコンからピー音が鳴ります。このモードの場合、ドローンの頭部若しくは尾部がどの方向に向いても、ドローンは「**右手スロットル**」による方向に沿って飛行します。再び軽く押すと、ヘッドレスモードから退出します。

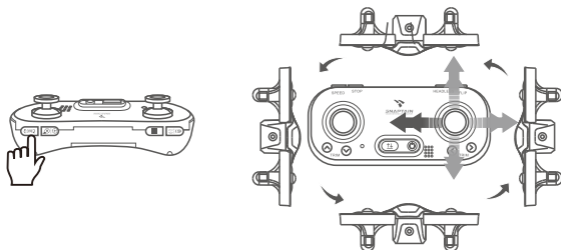


標準モード

ヘッドレスモード


360° 宙返り

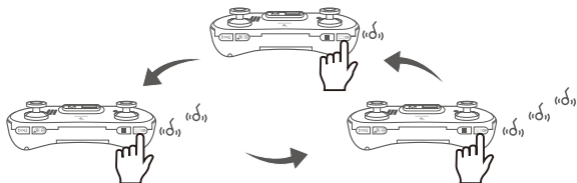
ドローンが2メートル以上飛びした後、まず「**360°**」を下へ押して、それから「**右スロットル**」を前/後/左/右方向に押してドローンを前/後/左/右旋回させます。




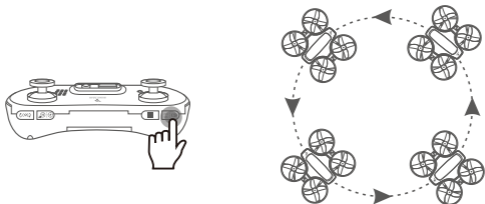
*ドローンのバッテリーが電力不足時、該当機能が作動しません。

スピード変更 & サークルフライ

ドローンはデフォルト設定で低速になります。「」を1回下へ押して「ピーピー」という音が出て中速になります。もう一度下へ押して「ピーピーピー」という音が出て高速になります。3回目下へ押して「ピー」という音が出て低速に戻ります。

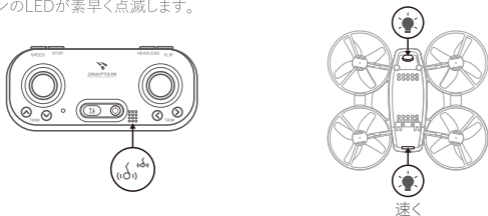


ドローンを中心に、半径5 M内に障害物がない場合は、「」ボタンを長押しして、ドローンが「サークルフライ」モードに入って、そのボタンを長押しして或いは「右手スティック」を左/右方向へ操作して、ドローンは「サークルフライ」モードを終了する。



バッテリーの低電アラーム

リモコンから連続したピーブ音が鳴り、ドローンのバッテリーの電力が少なくなるとドローンのLEDが素早く点滅します。



緊急停止

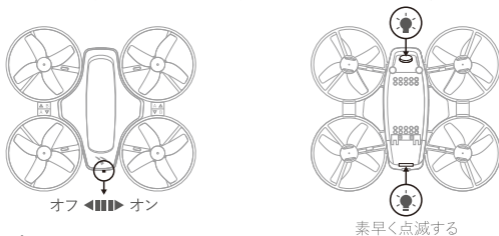
「STOP」ボタンを長押しすると、ドローンが停止して落下します。緊急停止後、LEDが素早く点滅します。ドローンを再起動して調整してください。

Mode 1の場合

1. ペアリング

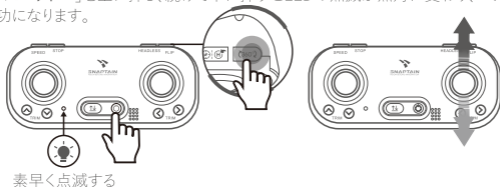
ステップ 1:

機体の電源を入れ、LED が点滅していて、水平な場所においてください。



ステップ 2:

送信機で「360°」ボタンを押したまま、「オン/オフ」ボタンをオンにしてリモコンが起動してから「Mode1」に入ります。送信機の電源を入れると送信機のLEDが点滅します。「右手スロットル」を上押し、続けて下に押しとLEDの点滅が点灯に変わり、ペアリングが成功になります。



2. 飛行校正

ペアリングに成功した後、同時に左右スロットを左下角 45° 若しくは右下角 45° へ2-3秒押し、校正を行ってください。校正している時、機体のインジケータが素早く点滅します。インジケータが長く点灯すると校正が成功しています。



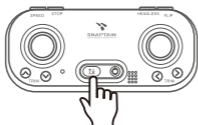
*ドローンが落下しかつドローンのLEDがすばやく点滅する場合は、ドローンを再度調整してください。

3. 飛行指導

起動

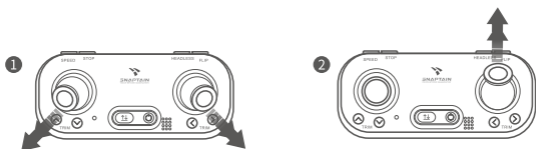
オプション1:

「**↑↓**」ボタンを軽く押してテークオフできます。



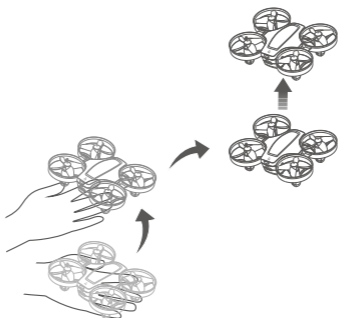
オプション2:

プロペラがすべて回転するまで、「左手スロットル」を左下角45°へ、同時に「右手スロットル」を右下角45°へ押してください。次に「右手スロットル」を上へ軽く押して離陸になります。



オプション3:

ドローンを手のひらに置いて機首を正面にし、それからゆっくりと空中に投げます。

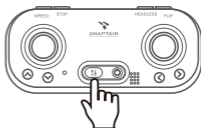


- * ドローンを投げ上げるには十分なスペースがあることを確認してください。この動作は基本操作に熟練している場合にのみお勧めします。
- * LEDが素早く点滅している時、ドローンを投げないでください。ドローンとリモコンを再起動し、ペアリングと較正の手順を行ってから再び投げてください。

着陸

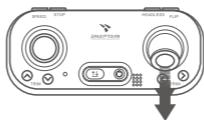
オプション1:

フライト中、「**↑↓**」ボタンを軽く押して着陸できます。



オプション2:

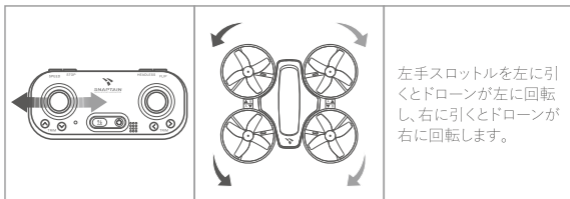
プロペラの回転が停止まで「**右手スロットル**」を下へ3秒まで長押しして、着陸になります。



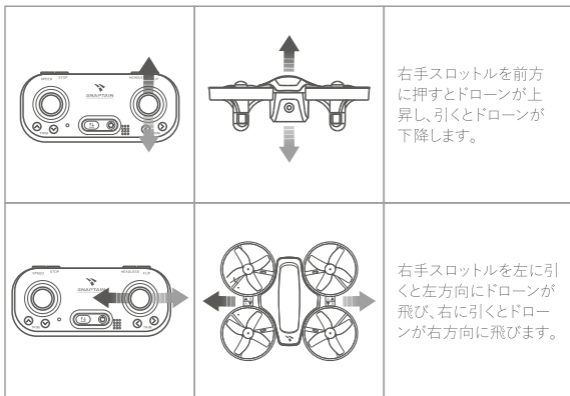
飛行ガイド

左手スロットル

A top-down view of the remote control. Two vertical arrows, one pointing up and one pointing down, are positioned over the left-hand throttle stick to indicate its range of motion.	A top-down view of a drone with four propellers. A vertical double-headed arrow is in the center, with a longer arrow pointing upwards and a shorter arrow pointing downwards, indicating forward and backward flight directions.	<p>左手スロットルを前方に押すとドローンが前方に飛び、引くとドローンが後方に飛びます。</p>
--	---	--



右手スロットル



高度保持

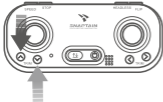
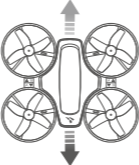

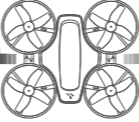
ドローンの高度保持機能が初期に始動します。ドローンがある高度に上昇若しくは降下すると、「右手スロットル」を放して、ドローンがその高度を保持します。安定のフライトを行うため、相応なトリムボタンを軽く押して調整します。

i ご注意:

市場におけるGPS付きなしのドローンの高度維持機能は定点じゃなくである水平面を維持できる機能です。ホバリング時、ドローンが左右に流される可能性があります。流されたら、トリムボタンを使ってください。詳細操作は「トリム調整」にご参照ください。

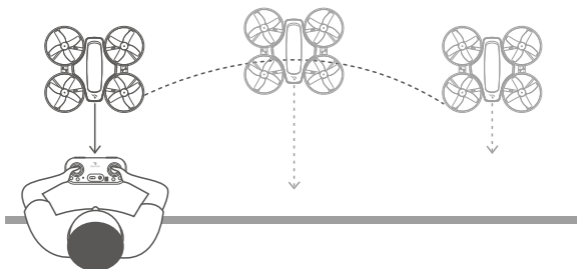
トリム調整

安定のフライトを行うため、相応なトリムボタンを軽く押して調整します。



		<p>ドローンが飛行状態になる時、前方若しくは後方に傾いた場合、「後退/前進トリム」ボタンを軽く押して後退/前進に調整する。</p>
		<p>ドローンが飛行状態になる時、左若しくは右に傾いた場合、「右飛行/左飛行トリム」ボタンを軽く押して右方向/左方向に調整する。</p>

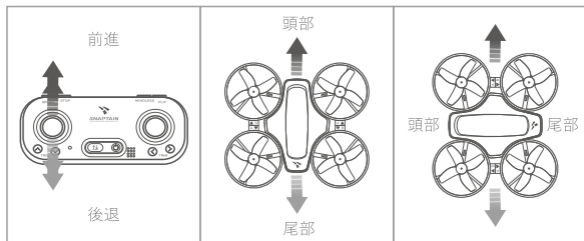
ワンキーリターン

「 」ボタンを長押しして元の離陸経路を折り返します。もう一度このボタンを長押しすと帰航モードはキャンセルされます。



ヘッドレスモード


「」「」ボタンを軽く押すと、ドローンのLEDインジケータがゆっくりと点滅します。ドローンのLEDが点滅すると、リモコンからピー音が鳴ります。このモードの場合、ドローンの頭部若しくは尾部がどこの方向を向いても、ドローンが「左手スロットル」によって前/後方に、若しくは「右手スロットル」によって左/右方向に飛行する。

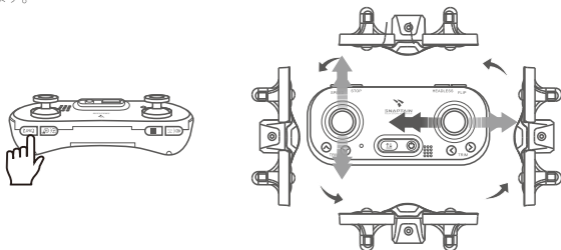


標準モード

ヘッドレスモード


360°宙返り

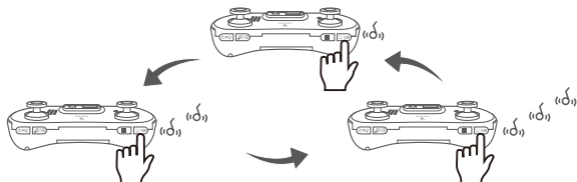
ドローンが2メートル以上飛びした後、まず「」を下へ押して、「左手スロットル」を前/後方に押して、若しくは「右手スロットル」を左/右方向に押してドローンを回転させます。




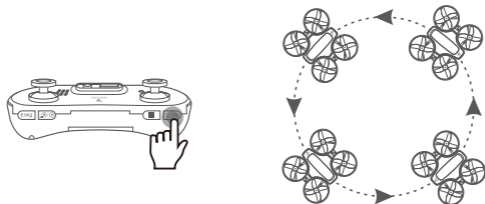
*ドローンのバッテリーが電力不足時、該当機能が作動しません。

スピード変更 & サークルフライ

ドローンはデフォルト設定で低速になります。「」を1回下へ押して「ピーピー」という音が出て中速になります。もう一度下へ押して「ピーピーピー」という音が出て高速になります。3回目下へ押して「ピー」という音が出て低速に戻ります。

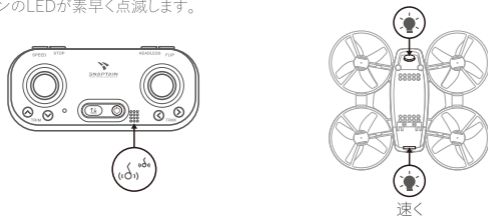


ドローンを中心に、半径5 M内に障害物がない場合は、「」ボタンを長押しして、ドローンが「サークルフライ」モードに入って、そのボタンを長押しして或いは「右手スティック」を左/右方向へ操作して、ドローンは「サークルフライ」モードを終了する。



バッテリーの低電アラーム

リモコンから連続したピーブ音が鳴り、ドローンのバッテリーの電力が少なくなるとドローンのLEDが素早く点滅します。



緊急停止

「STOP」ボタンを長押しすると、ドローンが停止して落下します。緊急停止後、LEDが素早く点滅します。ドローンを再起動して調整してください。

》 機体のインジケータ

ドローンの状態	機首LED	機尾LED	リモコンのLED
起動後	ゆっくり点滅する	ゆっくりと赤く点滅する	速く点滅する
ペアリング中	速く点滅する	赤で速く点滅する	速く点滅する
ペアリング完了/ 校正完了	長く点灯する	赤く点灯する	長く点灯する
通常の飛行	長く点灯する	赤く点灯する	長く点灯する
低電力通知/ 飛行異常	速く点滅する	赤で速く点滅する	赤で速く点滅する
ヘッドレスモード	長く点灯する	ゆっくりと赤く点滅する	長く点灯する
緊急停止	長く点灯する	赤で速く点滅する	長く点灯する

》 トラブルシューティングガイド

送信機のLEDインジケータは点灯しません。

1. 送信機がオンになっていることを確認してください。
2. ドローンが飛行前に、バッテリーの電力及び正しく取り付けられていることを確認してください。

電池を入れてもドローンLEDが反応しません。

1. ドローンの電源スイッチがオンになっていることを確認してください。
2. バッテリーの残量を確認してください。

ドローンのLEDインジケータが持続に点滅しますがスロットルにて操作できません。

1. バッテリーに充電し若しくはフル充電のバッテリーに交換してください。
2. 送信機とドローンの電源を切れ、まずドローンの電源を入れ、次に送信機の電源を入れます。
3. ブレード/モーターに何か詰まっていないか確認してください。

ブレードは回転しますが、ドローンが反応しません。

1. フル充電のバッテリーを確認してください。
2. 「左手スロットル」若しくは **↑↓** ボタンを押してドローンを起動します。

ドローンの飛行状態が不安定。

1. ドローンを着陸させて、操作説明のとおり改めて飛行校正を行ってください。
2. 風のない環境で飛ぶことをお勧めします。
3. 相応な調整を行ってください。

ドローンがスロットルによる操作に対して鈍いです。

1. ドローンを送信機の有効通信距離を超えず飛ばしてください。
2. 送信機とドローンのバッテリーが正しく取り付けられるかご確認ください。若しくはフル充電のバッテリーを確認してください。

ドローンがぶつかった後再び離陸する時、常に加速若しくは急降下に飛びます。

1. 「左手スロットル」を下奥へ押し、ドローンが着陸し、プロペラが回転を停止するまでリリースします。着陸後、ブレードが緩むかどうかを確認してください。そうである場合、調整するためにブレードの中央部分を押し下げてください。その後、取扱説明書に従って再び校正を行ってください。

一部のブレードは回転しません。

1. モーターに髪や草が入ることを確認してください。
2. ブレードがゆるんでいないことを確認してください。
3. ブレードはA&Bというラベルが付いており、モーターのモデルと同じように、ブレードが正しく取り付けられていることを確認してください。

» 仕様

ドローン	
動作温度	32° F to 104° F (0°C to 40°C)
動作周波数	モデル SP350: 2430-2475MHz
送信機	
動作周波数	モデル SP350: 2430-2475MHz
送信電力	モデル SP350: 2.4GHz < 14dBm
USBケーブル	
入力	5V  0.5-2A
出力	5V  600mA
定格出力	3W

SNAPTAIN SUPPORT

JP : support.jp@snaptain.com



www.snaptain.com



[@snaptainofficial](https://www.facebook.com/snaptainofficial)



[@snaptain_official](https://www.instagram.com/snaptain_official)